

1. 科目名 (単位数)	多文化理解入門 (2単位)		3. 科目番号	GELA1135
2. 授業担当教員	野口 生也			
4. 授業形態	講義、ペアワーク、グループ学習、グループ発表		5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	特になし			
7. 講義概要	<p>現代はグローバル化の影響で以前にもまして人やモノが国境を越え移動するようになり、文化背景が異なる他者が日常の中で身近に存在している。その一方、文化を共有している人々の間では常識であることも、文化背景が異なると相手は自分と同じ考え方をすることは限らないし、自分とは異なった行動をすることも。そのような文化の違いにより誤解などが生じることもあるため、「文化」の影響について知ることは多文化共生のために特に大切である。</p> <p>本講義では異なった文化背景を持つ様々な他者の理解を深めると共に、自文化、つまりは自分について理解することも目的とする。自分とは異なる文化背景を持つ他者に向かい合うことで、自分と自分が属する文化への理解を深めていく。また多文化理解を促進する態度や技能を個人ワーク、ペアワーク、グループディスカッションを通し身につけていく。</p>			
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「文化」という概念についての理解を具体例を通し、説明できるようになる。 2. 自分とは異なった背景を持つ他者について理解できるようになる。 3. 自分自身の「文化」的背景への気づきを高め、「文化」がもたらす影響を意識できるようになる。 4. 多文化理解を促進する態度や技能を身につける。 5. 多文化共生社会の実現のために自分ができることを自分なりに考え意見をいえる。 			
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学習課題の事前学習と事後学習を行うこと。 2. 授業内課題は授業の終わりに提出すること。 3. グループ発表で自分が担当する箇所のpptファイルを第13回授業日までに提出すること (発表とともに評定の方法「2 試験」として評価)。 			
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】原沢伊都夫著『異文化理解入門』研究社、2013年。 【参考書】授業時に指示する。 【教材】随時、資料を配布する。</p>			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「文化」という概念についての理解を具体例を通し、説明できるようになったか。 2. 自分とは異なった背景を持つ他者について理解できるようになったか。 3. 自分自身の「文化」的背景への気づきを高め、「文化」がもたらす影響を意識できるようになったか。 4. 多文化理解を促進する態度や技能を身につけることができたか。 5. 多文化共生社会の実現のために自分ができることを自分なりに考え意見をいえるようになったか。 <p>○評定の方法</p> <p>以下の点を総合して評価する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業への積極的態 総合点の30% 2 試験 (小テスト・期末テスト・口頭発表試験 等) 総合点の30% 3 提出課題 (レポート等) 総合点の40% 			
12. 受講生へのメッセージ	分からないことや共有したいことがあれば、積極的に発言しましょう。ペアやグループでの活動では、お互いを尊重し、協力しましょう。			
13. オフィスアワー	授業内で周知する。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	シラバスの説明 第1章：異文化を理解する	事前学習	教科書 pp. 1-26 を読み、関連する自分の考えを記述する。	
		事後学習	教科書や資料を読み返し、重要点を整理する。	
第2回	第2章：文化とは (その1) : 1. 文化の氷山モデル 2. 私の常識・非常識?	事前学習	教科書 pp. 27-38 を読み、関連する自分の考えを記述する。	
		事後学習	教科書や資料を読み返し、重要点を整理する。	
第3回	第3章：文化とは (その2) 1. トータルカルチャーとサブカルチャー 2. 文化の特徴 3. 文化的側面に対する個人的側面と普遍的側面	事前学習	教科書 pp. 39-54 を読み、関連する自分の考えを記述する。	
		事後学習	教科書や資料を読み返し、重要点を整理する。	
第4回	第4章：異文化適応	事前学習	教科書 pp. 55-68 を読み、関連する自分の考えを記述する。	
		事後学習	教科書や資料を読み返し、重要点を整理する。	
第5回	第5章：シミュレーション 第6章：違いに気づく	事前学習	教科書 pp. 69-90 を読み、関連する自分の考えを記述する。	
		事後学習	教科書や資料を読み返し、重要点を整理する。	
第6回	第7章：異文化の認識	事前学習	教科書 pp. 91-102 を読み、関連する自分の考えを記述する。	
		事後学習	教科書や資料を読み返し、重要点を整理する。	
第7回	第8章：差別を考える	事前学習	教科書 pp. 103-114 を読み、関連する自分の考えを記述する。	
		事後学習	教科書や資料を読み返し、重要点を整理する。	

第8回	第9章：世界の価値観 第10章：異文化トレーニング	事前学習	教科書 pp. 115-140 を読み、関連する自分の考えを記述する。
		事後学習	教科書や資料を読み返し、重要点を整理する。
第9回	第11章：異文化受容	事前学習	教科書 pp. 141-152 を読み、関連する自分の考えを記述する。
		事後学習	教科書や資料を読み返し、重要点を整理する。
第10回	第12章：自分を知る ※発表グループ分け	事前学習	教科書 pp. 153-166 を読み、関連する自分の考えを記述する。
		事後学習	教科書や資料を読み返し、重要点を整理する。グループで発表内容と担当を話し合う。
第11回	第13章：非言語コミュニケーション	事前学習	教科書 pp. 167-178 を読み、関連する自分の考えを記述する。
		事後学習	教科書や資料を読み返し、重要点を整理する。自分の発表箇所を準備する。
第12回	第14章：アサーティブ・コミュニケーション	事前学習	教科書 pp. 179-190 を読み、関連する自分の考えを記述する。
		事後学習	教科書や資料を読み返し、重要点を整理する。自分の発表箇所の準備をする。
第13回	第15章：多文化共生の実現にむけて ※発表 ppt ファイル提出	事前学習	教科書 pp. 191-199 を読み、関連する自分の考えを記述する。
		事後学習	教科書や資料を読み返し、重要点を整理する。グループで発表のリハーサルをする。
第14回	グループ発表と質疑応答（1）	事前学習	グループで打ち合わせと発表の最終リハーサルをする。
		事後学習	発表後の反省点や質疑応答の内容を整理する。
第15回	グループ発表と質疑応答（2） 発表に関するディスカッション 授業全体の総括および提出物確認	事前学習	グループで打ち合わせと発表の最終リハーサルをする。
		事後学習	発表後の反省点、質疑応答、ディスカッション、総括の内容を整理する。